

吹田市コミュニティバス運行事業評価会議

日 時：令和4年11月10日（木）15時～
場 所：メイシアター 集会室

次 第

- 【1】開会挨拶（土木部長）
- 【2】自己紹介
- 【3】議事の説明（司 会）
- 【4】評価指標に基づくコミュニティバス運行事業評価（事務局）
- 【5】運輸安全マネジメントの取組状況（阪急バス株式会社）
- 【6】アドバイザー総評等（富山大学 准教授 猪井博登）
- 【7】閉会挨拶

《配布資料》

- ・吹田市コミュニティバス運行事業評価会議 次第（本紙）
- ・吹田市コミュニティバス運行事業評価会議 委員名簿
- ・吹田市コミュニティバス運行事業評価会議 配席表
- ・吹田市コミュニティバス運行事業評価会議 評価資料（資料1～7）
- ・吹田市コミュニティバス運行事業評価会議 事業評価結果シート（案）
- ・吹田市コミュニティバス運行事業評価会議 設置要領
- ・利用者アンケート
- ・すいすいバスご利用案内（時刻表）

《配布資料-2》

- ・運輸安全マネジメントの取組み（阪急バス株式会社）

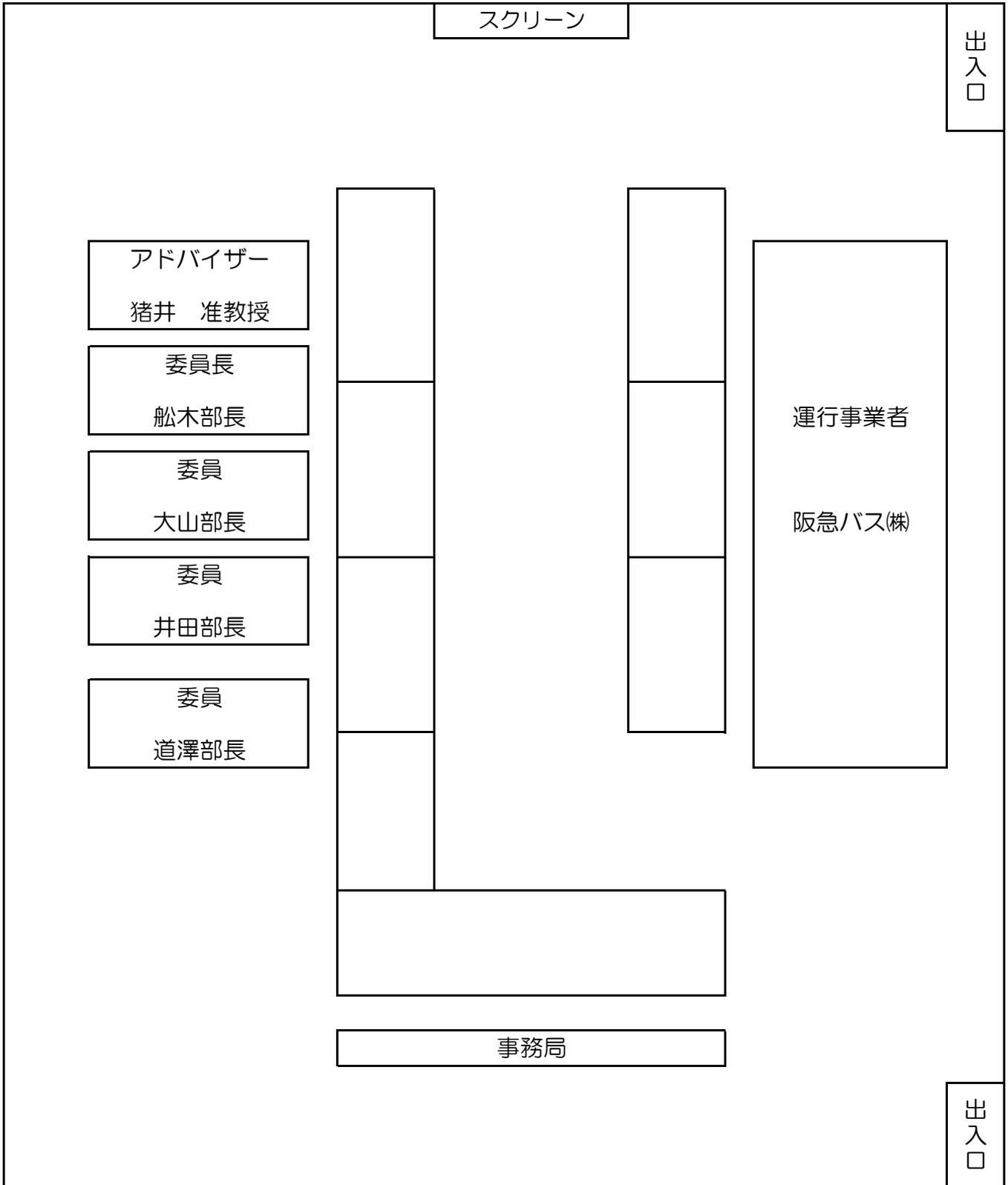
令和4年度 吹田市コミュニティバス運行事業評価会議

委員名簿

	役職	氏名
委員長	吹田市 土木部 部長	船木 充善
委員	吹田市 環境部 部長	道澤 宏行
委員	吹田市 都市魅力部 部長	井田 一雄
委員	吹田市 福祉部 部長	大山 達也
アドバイザー	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授	猪井 博登

令和4年11月10日（木）

令和4年度コミュニティバス運行事業評価会議 配席表



吹田市コミュニティバス「すいすいバス」とは

●すいすいバス基本コンセプト

市内の高齢者等移動制約者の移動手段の確保等のため、持続可能な交通システム形成の一環としてのコミュニティバスを位置付け、便利で誰もが気軽に利用できるバスを目指すものです。

●運行形態

道路運送法第三条に規定する、一般乗合旅客自動車運送事業
同法第四条に規定する国土交通大臣の許可により運行（路線バスと同じ）

●運行事業者

阪急バス株式会社

本格運行移行に伴い、公募型プロポーザル方式で運行事業者を選定。
協定書に基づき、運行経費と運賃収入等の差額分を補助金として交付。

（参考：直近3か年平均補助金額）

令和元年～令和3年 平均補助金額 31,001,000円

●運行地域

千里丘地域において、ひまわりルート、あおばルートの2ルートで運行。

●運行時間

平日 ひまわりルート 7:50～19:30

土日祝 ひまわりルート 9:00～18:20

平日 あおばルート 8:00～19:40

土日祝 あおばルート 9:10～18:30

※上記の時間に「JR千里丘駅前」を出発

●運賃

おとな 200円 子ども 100円

（身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳呈示で半額）

回数券(12枚) おとな 2,000円 子ども・障がい者 1,000円

吹田市コミュニティバス運行事業の流れ
 (本格運行に至るまでの経過)

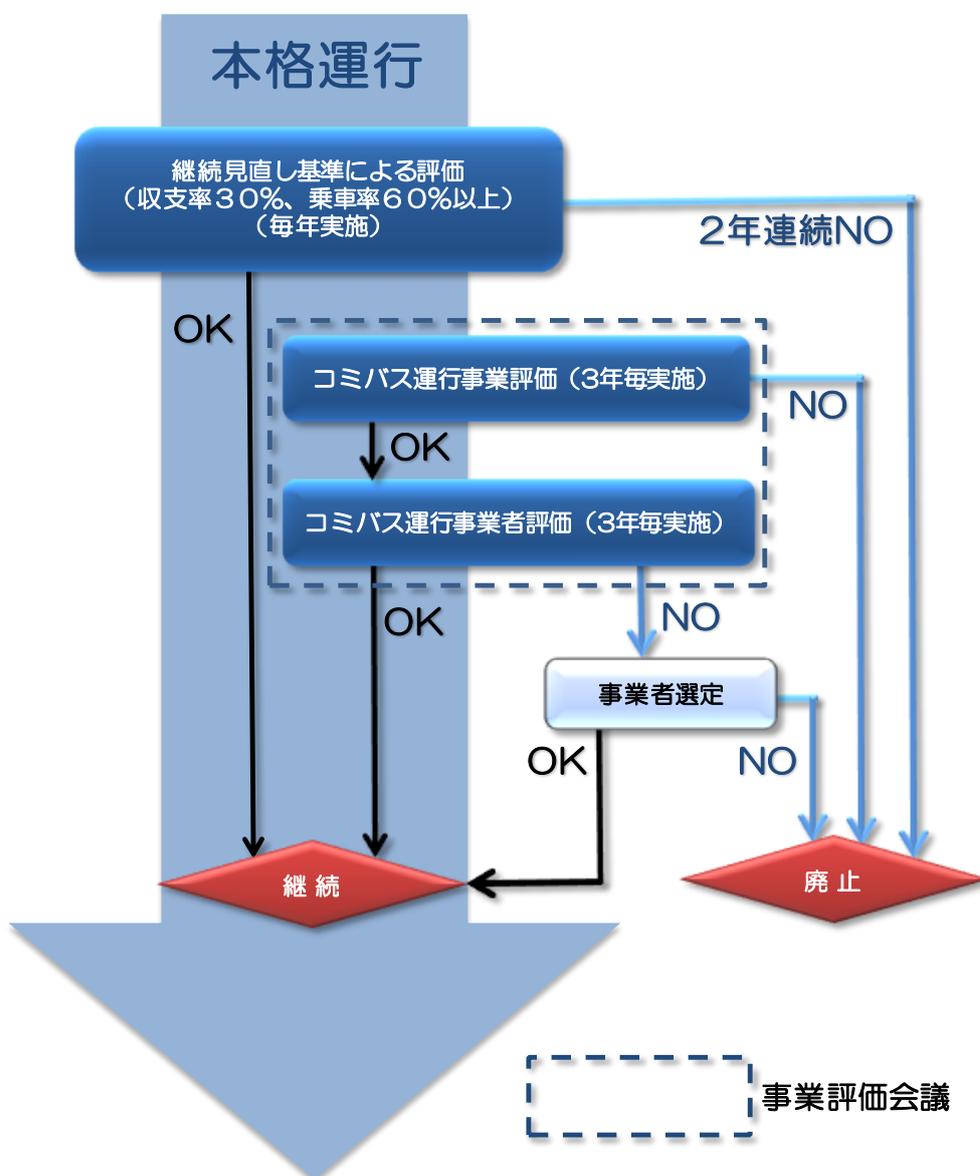
年度	事業内容	
H16		アンケート調査(H17.3) →コミバス導入候補地域の需要把握
H17	第1,2回コミバス導入検討委員会 →設立、試験運行内容等の検討 第1回ワークショップ(市民参画)	
H18	第3~6回コミバス導入検討委員会 →試験運行ルートの承認 →時刻、運賃、車両、停留所等の検討、承認 →試験運行事業者の選定、承認 →利用実態調査内容の検討 第2回ワークショップ(市民参画)	試験走行会 住民説明会
試験運行開始 H18.12.1		
		アンケート調査(H19.1) →利用実態調査(住民・利用者)
H19	第7,8回コミバス導入検討委員会 →運行内容改善案の検討	OD調査(利用者)
H20	第9回コミバス導入検討委員会 →運行内容改善案の承認	
ルート変更(一方向→双方向、土日祝増便) H20.10.1		
	第10回コミバス導入検討委員会 →ルート等変更後の利用実態、課題の分析 継続・見直し基準の検討、承認	OD調査(利用者) お試し乗車券配布 100円キャンペーン実施(H20.2)
H22	本格運行運行事業者募集(H22.10) コミバス運行事業者選定委員会(H22.11.9)	見やすい時刻表検討会(地域住民)
H23	本格運行開始 H23.4.1	
ルート変更(JR千里丘駅乗り入れ、1便60分→70分) H23.4.1		
H25	コミバス運行事業評価会議(H25.10.16)	
H28	コミバス運行事業評価会議(H28.10.5)	
R1	コミバス運行事業評価会議(R1.11.15)	

- ・H19.12~ ICカード対応 等
- ・H28~ 車種変更:(旧)三菱ふそうローザ→(新)日野ポンチョ
- ・H29~ バスロケーションシステム(位置情報検索システム)導入

コミュニティバス運行事業の評価の実施について

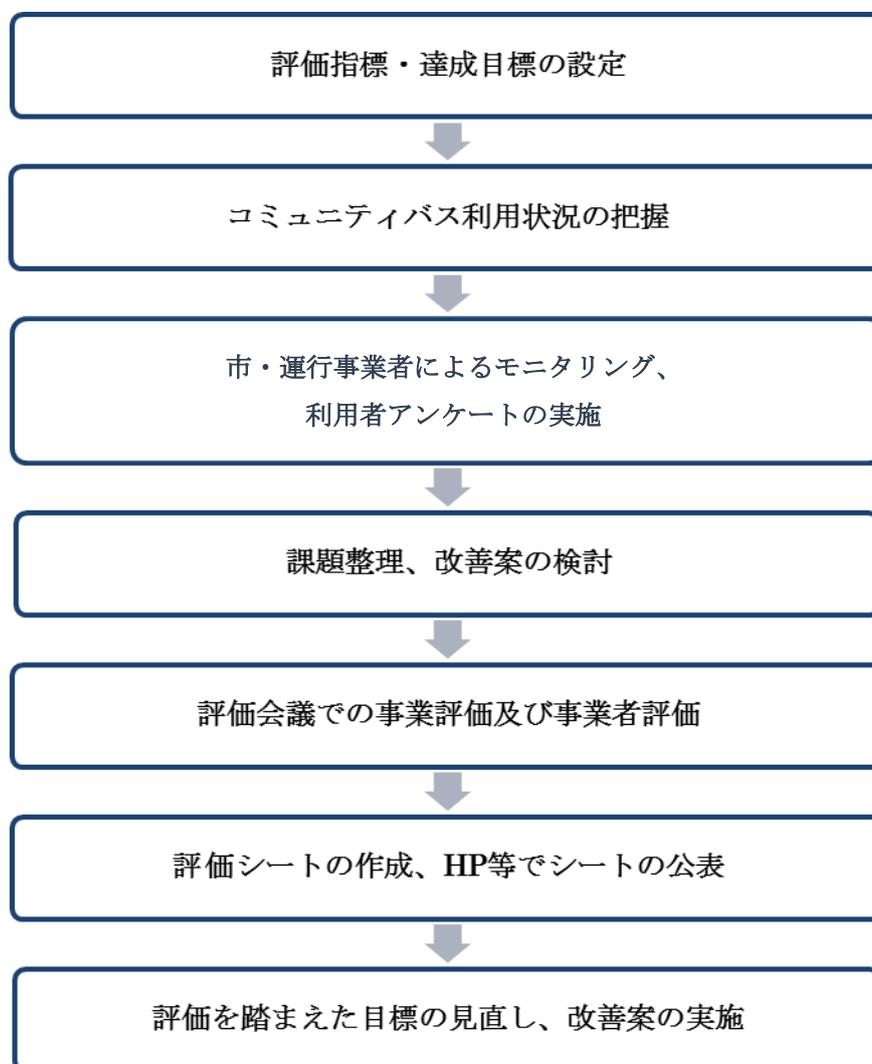
本事業評価は、平成23年度の本格運行開始から運行事業者との協定の期限である3年目を迎えたため、毎年行っている継続・見直し基準(収支率30%以上かつ乗車率60%以上)による評価に加え、利用者アンケート調査による事業満足度等の評価や運行事業者による自己評価等を実施し、今後の事業継続の判断や、利用者ニーズに応じた改善等を行うことを目的とする。

※¹継続・見直し基準：吹田市コミュニティバス導入検討委員会で定めたコミュニティバスの継続・見直しをするための基準。



コミュニティバス運行事業評価プロセス

今回の事業評価は、次のようなプロセスで実施するものとします。なお、今回の事業評価の結果に基づき今後実施する改善策についても、その達成状況を検証するとともに、住民ニーズや社会情勢の動向を踏まえ、新たな評価指標の設定や達成目標の見直しを行うなど、フィードバックの繰り返しにより、コミュニティバス運行事業をより良いものに育てていきます。



コミュニティバス運行事業の事業評価指標と達成目標

認知度、利用状況面、費用効率面、満足度等の視点から以下の指標により、事業評価をおこなう。

指 標	定 義	計 測 方 法	達 成 目 標
利用者数	利用者数の対前年比較	乗務員による測定結果を整理し推移を確認	対前回比プラス
収支率	運行経費(車両購入費を除く)に対する運賃等の収入の割合	年間の運行経費と運賃等の収入を確認し算定	対前回比プラス
乗車率	座席数に対する1便あたり平均乗車人員の割合	年間の乗車人員を確認し算定	対前回比プラス
定時性	ダイヤとの乖離時間	乗務員による計測	5分以内
サービス満足度	運行便数、運行ルート、運賃、事業全体に対して、満足と思う人の割合 乗務員の運転、態度に対して満足と思う人の割合	利用者アンケート調査により、満足度を確認	今回から住民アンケートから利用者アンケートへ変更するため、単純比較は困難
環境負荷低減効果	マイカーの使用頻度に対する変化	利用者アンケート調査により、満足度を確認。	
認知率	これまで運行地域の住民における事業の認知度を把握してきたが、令和元年度に100%を達成したことから、その必要性がないと判断し、確認すべき指標から削除しました。		

平成25年度、平成28年度、令和元年度の事業評価会議においては、住民アンケートにより、評価を行っていたが、一定の条件の人に配布できず、単純比較ができないため、令和3年度より住民アンケートから利用者アンケートに変更した。

過去3回の事業評価に用いた指標比較（事業評価結果シートから一部抜粋し、比較）

	平成25年度	平成28年度	令和元年度
認知率	98.7%	85.6%	100.0%
運行便数	46.5%	34.9%	35.2%
運行ルート	71.1%	75.6%	68.4%
運賃	61.1%	65.7%	64.8%
事業全体	37.3%	58.2%	50.6%
乗務員の運転	68.2%	61.6%	64.3%
乗務員の態度	70.0%	66.2%	65.5%

運行便数、運行ルート、運賃については、「現状のままでよい」と回答した割合。

事業全体、乗務員の運転、態度は「良い・やや良い」と回答した割合。

コミュニティバス利用者アンケート調査

○調査方法

・調査対象

下記期間において、コミュニティバス（あおばルート、ひまわりルート）に乗車し、利用者にアンケート用紙を直接配布。

・調査期間

令和4年（2022年）10月18日（金）～10月20日（木）

○アンケート調査項目

	項 目	目 的
問1	利用目的について	現在の利用状況目的
問2	利用する停留所	
問3	利用頻度について	サービス満足度の把握 利用者改善意向の抽出
問4	運行頻度について、改善意向	
問5	ルートについて、改善意向	
問6	運賃について、改善意向	
問7	乗務員の運転について	
問8	乗務員の態度・マナーについて	
問9	車両の快適性について	
問10	事業全体について	
問11	マイカー利用の頻度について	環境負荷低減効果の把握
問12	性別	回答者属性の把握
問13	年齢層	
問14	職業	
問15	住所	住所
自由意見		地域ニーズの抽出

コミュニティバス定時性調査

○調査方法

調査期間内におけるひまわり・あおば両ルートにおいて、平日、土日祝の各々で全停留所についてのダイヤとの乖離時間をバスロケーションシステムのデータにより計測。
調査期間内の延着時間について、1ヶ月平均の乖離時間を算出した。

○調査期間

令和4年8月1日（月）～令和4年8月31日（水）（内、平日20日、土日祝11日）

○調査結果

ひまわり									
ダイヤとの乖離時間	平日	割合	5分以内	土日祝	割合	5分以内	合計	割合	5分以内
N=	6908			3106			10014		
0～1分	4021	58.2%	97.2%	1989	64.0%	97.3%	6010	60.0%	97.2%
1～2分	1638	23.7%		681	21.9%		2319	23.2%	
2～3分	603	8.7%		204	6.6%		807	8.1%	
3～4分	289	4.2%		83	2.7%		372	3.7%	
4～5分	164	2.4%		64	2.1%		228	2.3%	
5～6分	73	1.1%		43	1.4%		116	1.2%	
6～7分	47	0.7%		23	0.7%		70	0.7%	
7～8分	32	0.5%		8	0.3%		40	0.4%	
8～9分	23	0.3%		4	0.1%		27	0.3%	
9～10分	18	0.3%		7	0.2%		25	0.2%	

あおば									
ダイヤとの乖離時間	平日	割合	5分以内	土日祝	割合	5分以内	合計	割合	5分以内
N=	6309			3008			9317		
0～1分	3277	51.9%	97.0%	1823	60.6%	99.1%	5100	54.7%	97.6%
1～2分	1655	26.2%		790	26.3%		2445	26.2%	
2～3分	748	11.9%		270	9.0%		1018	10.9%	
3～4分	296	4.7%		67	2.2%		363	3.9%	
4～5分	142	2.3%		30	1.0%		172	1.8%	
5～6分	72	1.1%		17	0.6%		89	1.0%	
6～7分	64	1.0%		8	0.3%		72	0.8%	
7～8分	25	0.4%		3	0.1%		28	0.3%	
8～9分	22	0.3%		0	0.0%		22	0.2%	
9～10分	8	0.1%		0	0.0%		8	0.1%	

ひまわり・あおば合計									
ダイヤとの乖離時間	平日	割合	5分以内	土日祝	割合	5分以内	合計	割合	5分以内
N=	13217			6114			19331		
0～1分	7298	55.2%	97.1%	3812	62.3%	98.2%	11110	57.5%	97.4%
1～2分	3293	24.9%		1471	24.1%		4764	24.6%	
2～3分	1351	10.2%		474	7.8%		1825	9.4%	
3～4分	585	4.4%		150	2.5%		735	3.8%	
4～5分	306	2.3%		94	1.5%		400	2.1%	
5～6分	145	1.1%		60	1.0%		205	1.1%	
6～7分	111	0.8%		31	0.5%		142	0.7%	
7～8分	57	0.4%		11	0.2%		68	0.4%	
8～9分	45	0.3%		4	0.1%		49	0.3%	
9～10分	26	0.2%		7	0.1%		33	0.2%	

加重平均：1.8分（5分以内）

事業評価結果シート(案)

事業名		吹田市コミュニティバス運行事業					
事業の目的		路線バス等がない公共交通不便地域及び地域内移動の需要が多い地域において、公共交通不便地域の緩和と高齢者・障がい者等の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する。本市においては、「千里丘地区」において運行している。					
事業評価の趣旨		コミュニティバス運行事業は、運行の継続性を判断する継続・見直し基準(下記)による評価に加え、利用者アンケート調査による事業満足度等の評価、運行事業者による自己評価等を実施し、今後の事業継続の判断や、利用者ニーズに応じた改善等を行うことを目的とする。					
事業評価事業者評価		①継続見直し基準による評価(収支率30%以上、乗車率60%以上)毎年実施 ②コミバス運行事業評価(3年毎開催) ③コミバス運行事業者評価(3年毎開催)					
事業概要(インプット)		運行日 : 毎日(1/1~1/3日を除く)	運行便数 : 平日22便 土日祝日18便(70分間隔)				
		運行時間 : 7:50(発)~19:40(発)	系統数 : 2系統(ひまわりルート・あおばルート)				
		停留所数 : 60か所	車両台数 : 3台(うち予備車1台)				
		使用車両 : 日野ポンチョ/ロングドア(定員32名 内訳 正座席17 立席14 乗務員1)					
事業収支(単位:円)			H30年度報告	R元年度報告	R2年度報告	R3年度報告	推移(R3とH30の差)
		(1) 運行収入(運賃収入+車外広告料)	21,601,186	21,545,163	18,287,711	20,607,424	- 993,762
		(2) 運行経費(人件費、燃料費、事務費等)	41,462,851	41,935,441	48,534,031	47,238,624	5,775,773
		(3) 車両減価償却費	10,808,268	10,808,259	0	0	- 10,808,268
		(4) 標柱埋め込み工事費	0	0	0	4,929,000	4,929,000
		(5) 運行補助金	30,669,000	31,198,000	30,246,000	31,560,000	891,000
		(6) 利用者1人当たり補助金投入額(運行経費対象分) [(2)-(1)]/(6)	140 円	142 円	253 円	200 円	60 円
事業評価指標評価結果(アウトプット)	項目	評価に用いる指標	H30年度報告	R元年度報告	R2年度報告	R3年度報告	推移(R3/H30)
	利用実態等	(7) 利用者数	141,591 人	143,176 人	119,331 人	133,283 人	- 8,308 人
		(8) 収支率(1)/(2)	52.1 %	51.4 %	37.7 %	43.6 %	- 8.5 %
		(9) 乗車率	111.8 %	112.4 %	93.5 %	104.7 %	- 7.1 %
		(10) 便当たり平均乗車人員/座席数(17席)	(19.0人/17席)	(19.1人/17席)	(15.9人/17席)	(17.8人/17席)	- 1.2 人
		(11) 定時性[平均遅延時間] ※バス停での計測(運行事業者)	5分以内	5分以内	5分以内	5分以内	
	利用満足度調査	評価に用いる指標	計測方法	H31年度調査	R3年度調査	増減	評価
		(12) サービス満足度(※1)	運行便数	H25、H28、R元年度において、住民アンケートを行ってきたが、一定の条件の人に配布できず、単純比較ができないため、R3年度より、利用者アンケートへ変更する。資料5参照。	31.1 %	%	R3年度から住民アンケートから利用者アンケートへ変更したことから、比較できない。
			運行ルート		90.4 %	%	
			運賃		87.7 %	%	
			事業全体		72.1 %	%	
乗務員の運転			81.4 %		%		
乗務員の態度			87.2 %		%		
※1 サービス満足度 : 運行便数・運行ルート・運賃について「現状のままでよい」と回答した割合。 事業全体・乗務員の運転・態度は「良い・やや良い」と回答した割合。							
環境負荷低減効果	評価に用いる指標	計測方法	H31年度調査	R3年度調査	増減	評価	
	(13) マイカー使用の頻度	減少した	H25、H28、R元年度において、住民アンケートを行ってきたが、一定の条件の人に配布できず、単純比較ができないため、R3年度より、利用者アンケートへ変更する。資料5参照。	48.6 %	48.6 %	R3年度では、約5割の方が「減少した」と回答があり、マイカーから公共交通への転換に寄与している。	
		変わらない		35.1 %	- 35.1 %		
		増加した		5.4 %	5.4 %		
		わからない		10.8 %	- 10.8 %		

<p>利用者の意見 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・便数を増やしてほしい。(1時間に2便、2時間に3便等) ・増便に対する運賃の多少の増加はやむを得ない。 ・運行時間帯の拡大(朝夕ともに1時間長く運行等。) ・土曜日の最終便を平日と同じにしてほしい。 ・千里丘を経由して岸辺方面に行ってほしい。 ・停留所に椅子と屋根があれば助かります。 ・遅れた時の対応が丁寧ではない。運転のあらい人がいる。 ・時間前に通過しないでほしい。 ・歩道のバス停に直接乗降できる様にお願いしたい。 ・もう少し広くしてほしい。狭いためすぐにいっぱいになる。 ・乗務員の方の対応が丁寧。 ・助かっています。運行廃止にしないでください。便利です。年寄りの足はすいすいバスを頼っています。
<p>課題整理 改善案検討</p>	<p>【利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価会議時から、利用者数が減少している。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、減少している。今後の利用者の推移を注視していく。 <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数とともに、収支率は悪化している。今後の利用者の推移を注視するとともに、広告等の収入の確保に努める。 <p>【サービス満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行ルート、運賃、事業全体に対する満足度が大きく向上している一方で、便数の満足度については、31.1%となっている。便数については、自由記入欄にも多くの増便を求める声をいただいているが、増便については、様々な課題があることから、ただちに行うことは難しいため、区間毎の車内利用者の状況等を運行事業社である阪急バス(株)と共有していく。 ・乗務員の運転技術や態度については、ごく一部の人が「やや悪い・悪い」と回答されているが、ほとんどの方から好評をいただいている。今後についても市役所に届く御利用者様の声を真摯に受け止め、運行事業者である阪急バスに伝えていく。 <p>【マイカー利用頻度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約5割の方が、すいすいバスを利用することにより、「利用頻度が減少した」と回答されている。現在、市で実施している高齢者運転免許自主返納者に対する、公共交通利用に資する経費補助事業等も公共交通の利用促進に繋がっているものと思われる。引き続き、マイカーから公共交通への転換のPR活動を実施し、環境負荷低減に寄与できるよう努める。
<p>安全運行 に対する取組</p>	<p>【運転士確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型二種運転免許取得支援制度や待遇・福利厚生を充実させ、月二回を基準とした説明会・採用試験の設定し、経験者はもちろん未経験者からも幅広く採用を行っている。 <p>【運転士の教育体系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪急バスでは、お客様に安心・快適にバスをご利用いただくため、新人運転士への教習をはじめ、若年者教習、事故を起こした人に対する研修など充実の教育体制を整えている。 ・新人運転士の教習では、社内規程や関係法令等に関する座学講習をはじめ、1か月にわたる運転技能教習や基礎操縦訓練を実施し、オーバーハング、内輪差、反応時間、チェーン脱着、山間走行、市街地走行、狭路走行といった運転技術から高齢者疑似体験、車いす取り扱い教習、救急救命技能講習など、運転士としてあらゆるシチュエーションに対応できる知識をつける。 <p>さらには、お客様への対応の仕方、正しい言葉遣いや発声方法、身だしなみ等、接客接客技能習得の教育実施に加え、マイク活用によるお客様への安全喚起や快適な車内環境のご提供など、包括的な教育プログラムを通じ、バス運転士としての総合的な能力、高い運転技術とサービスマナーを有した運転士を育成している。</p> <p>【サービス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全とCSは表裏一体と考え、お客様から頂くご意見に対し再発防止に取り組むとともに、場面に応じ作成したお客様対応教育DVDを活用した社員教育に取り組む。さらに高齢のお客様や障がいをお持ちのお客様へ適切に対応できるよう「サービス介助士」の資格取得を推進し、資格取得者の名札にはお客様から分かるよう明記する。併せて、一定の要件を満たしたハンドル形電動車いす(シニアカー)をご利用のお客様に対して試験的にご乗車いただけるように取り組む。
<p>評価委員の 意見</p>	
<p>アドバイザー 総評</p>	

【担当所管評価】

<p>全体評価</p>			<p>評価会議</p>
<p>【今後の方向性】</p>	<p>事業の 継続性</p>	<p>継続 縮小 拡充</p>	
<p>【運行事業者の継続性】</p>	<p>運行事業者の継続性</p>		

アンケート集計結果

質問項目		回答数	割合	
問3	利用目的	通院	64	複数回答可
		買い物	102	
		教養・娯楽	31	
		通勤通学	15	
		市の施設等	3	
		その他	12	
		未記入	9	
問4	乗降場所	別紙参照		
問5	利用頻度	ほぼ毎日	22	16.1%
		週2～3回	67	48.9%
		月2～3回	42	30.7%
		月1回程度	4	2.9%
		ほとんど利用しない	2	1.5%
		未記入	7	
		問6	運行便数	増便を望む
現状のまま	42			31.1%
減便する	0			0.0%
未記入	9			
問7	運行ルート	現状のまま	113	90.4%
		変更する	12	9.6%
		自由記入欄	別紙参照	
		未記入	19	
問8	運賃	現状のまま	114	87.7%
		安くする	10	7.7%
		→自由記入欄	別紙参照	
		高くする	6	4.6%
		→自由記入欄	別紙参照	
		未記入	14	
問9	乗務員の運転 (運転技能)	良い	99	70.7%
		やや良い	15	10.7%
		ふつう	22	15.7%
		やや悪い	0	0.0%
		悪い	3	2.1%
		わからない	1	0.7%
		未記入	4	
問10	乗務員の態度 (接客対応)	良い	103	73.0%
		やや良い	20	14.2%
		ふつう	17	12.1%
		やや悪い	1	0.7%
		悪い	0	0.0%
		わからない	0	0.0%
		未記入	3	

質問項目		回答数	割合	
問11	車内の快適性	良い	67	47.9%
		やや良い	14	10.0%
		ふつう	53	37.9%
		やや悪い	3	2.1%
		悪い	2	1.4%
		わからない	1	0.7%
		未記入	4	
		問12	満足度	良い
やや良い	40			28.6%
ふつう	28			20.0%
やや悪い	9			6.4%
悪い	1			0.7%
わからない	1			0.7%
未記入	4			
問13	マイカー 利用頻度 (自家用車所有 世帯)			減少した
		変わらない	13	35.1%
		増加した	2	5.4%
		わからない	4	10.8%
		未記入	107	
問14	性別	男性	32	22.9%
		女性	108	77.1%
		未記入	4	
問15	年齢	24歳以下	0	0.0%
		25～34歳	1	0.7%
		35～44歳	3	2.2%
		45～54歳	2	1.5%
		55～64歳	15	10.9%
		65～74歳	45	32.8%
		75歳以上	71	51.8%
		未記入	7	
問16	職業	会社員	9	6.6%
		パート・アルバイト	12	8.8%
		自営業	2	1.5%
		公務員	1	0.7%
		学生	0	0.0%
		無職	106	77.4%
		その他	7	5.1%
		未記入	7	
問17	お住まい	別紙参照		

【 配布先 】

コミュニティバス車内 220部
(アンケート回収総部数) 144 部

※割合については少数第一位四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

問2	普段利用するバス停はどこですか？		
乗車	回答数	降車	回答数
JR千里丘駅前	10	JR千里丘駅前	76
青葉丘北	2	イズミヤ前	8
青葉丘南	1	モノレール宇野辺	5
イズミヤ前	3	蔵垣内	1
モノレール宇野辺	4	下山田	1
千里丘清水	9	新芦屋	2
下山田	1	千里丘一丁目	4
尺谷	2	千里ディアヒルズ前	1
ショッピングセンター前	3	吹田徳洲会病院前	2
新芦屋	5	長野公園北	1
千里丘上	1	長野東	1
千里丘北	1	マックスバリュ前	1
千里丘下	3	ミリカ・ヒルズ前	4
吹田徳洲会病院前	4	メゾン千里丘	5
長野西公園	1	山田檜切山	1
長野東	1	山田南	1
マックスバリュ前	9	山田東	1
ミリカ・ヒルズ前	8		
メゾン千里丘	43		
山田檜切山	6		
山田東	3		
山田南	4		
山田宮ノ前	1		
不明	12	不明	15

問5	現在の運行ルートについてどう思われますか？
概要	内容
駅へのアクセス	JR岸辺駅まで乗入れてほしい
	山田駅やエキスポシティを經由してほしい
地域へのアクセス	新小川までのばして下さるとありがたいです
	山田方面、岸辺方面を追加してほしいです。
	エキスポシティまで
	阪急バスが亥子谷の方面行がないのでその方まで出ればうれしい
経路・便数について	30分毎
	山田中学校前～スギ薬局前（フレッシュバザール前）～千里丘駅
	～モノレール宇野辺→千里丘下→宇野辺
	清水ルートですが1時間1本です。もう1本ふやしてほしいです。
その他	ミリカへ行くのを止めてほしい。ミリカにはマンションの便があります。
	ミリカヒルズ前はない方がいいです。あまりにも路駐が多いので事故が心配です。

問6	おとな1回の運賃はどの程度が妥当だと思いますか？	
金額	100円	1 件
	150円	3 件
	210円-220円	3 件
	250円	1 件
	300円	1 件

問15	お住まい			
吹田市内		吹田市外		
青葉丘北	2	大阪市	1	
青葉丘南	2	茨木市	1	
檜切山	9	門真市	1	
清水	20	摂津市千里丘	5	
尺谷	1	高槻市	1	
新芦屋	9			
新芦屋上	45			
新芦屋下	1			
吹田市内	1			
千里丘上	5			
千里丘中	7			
千里丘下	2			
千里丘北	3			
千里丘西	3			
垂水町	1			
長野東	4			
山田市場	3			
山田檜切山	1			
山田西	1			
山田東	9			
山田南	2			

吹田市コミュニティバス運行事業評価会議設置要領

(趣旨)

第1条 本市コミュニティバス運行事業における事業評価を厳正かつ公平に行うことを目的として、吹田市コミュニティバス運行事業評価会議(以下「評価会議」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 評価会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- 1 コミュニティバス運行事業の事業評価に関する事項
- 2 その他市長が必要と認める事項

(構成)

第3条 評価会議は、都市魅力部長、福祉部長、環境部長及び土木部長で構成する。

- 2 委員の選任期間は、選任された日から、コミュニティバス運行事業の事業評価をし、評価結果を公表した日までとする。

(委員長)

第4条 評価会議に委員長を置き、土木部長をもって充てる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 評価会議の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 評価会議は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者からの意見の聴取等)

第6条 市長は、必要に応じ委員以外の者に、評価会議への出席を求めて、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

- 2 前項の委員以外の者の報償は、予算の範囲内で支払うものとする。

(会議の特例)

第6条の2 委員長は、やむを得ない事由等により会議を開く余裕がない場合においては、すべての委員に対し書面により賛否を求め、その回答をもって会議の開催に代えることができる。

(庶務)

第7条 評価会議の庶務は、土木部総務交通室において処理する。

(委任)

第8条 この要領に定めるもののほか、評価会議の構成及び運営に関し必要な事項は、土木部長が定める。

附 則

この要領は、平成25年10月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。

吹田市コミュニティバス「すいすいバス」に関する アンケート調査のお願い



すいすいバス運賃

- おとな：200円
- 子ども（小学生以下）：100円
- 回数券
おとな：2,000円
子ども：1,000円

令和3年度すいすいバス利用状況

- 利用人数：133,283人
- 1便あたり利用人数：17.8人

令和3年度収支率

- 収支率：43.6%

吹田市では、地域の方、高齢者や障がい者の方等の移動手段の確保等を目的として、千里丘地区において、「すいすいバス」を運行しております。

また、事業に関しては、運行経費と収支の差額を市が財政支出しております。

今回、令和元年度以降の、すいすいバス事業の継続・見直し等を検討するための事業評価を実施するにあたり、すいすいバス利用者・地域住民の方々を対象としたアンケート調査を行いますので、御協力お願い申し上げます。

※このアンケートは、すいすいバスの事業評価を行うための参考とさせていただくもので、目的以外に使用することはありません。調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケート提出締切日：11/4（金）

問い合わせ：吹田市 土木部 総務交通室
電話 06-6155-3531

問6. おとな1回の運賃はどの程度が妥当だと思いますか？（〇は1つ）

現在、おとな1回の運賃は200円、回数券利用時は1回167円です。

具体的にあればお願いします。

①現状のままでよい	
②今より安い方がよい	→ 円
③今より高くてもよい	→ 円

問7. 乗務員の運転(急発進など)についてどう思われますか？（〇は1つ）

①良い ②やや良い ③ふつう ④やや悪い ⑤悪い ⑥わからない

問8. 乗務員の態度(案内、マナー等)についてどう思われますか？（〇は1つ）

①良い ②やや良い ③ふつう ④やや悪い ⑤悪い ⑥わからない

問9. 車内の快適性についてどう思われますか？（〇は1つ）

①良い ②やや良い ③ふつう ④やや悪い ⑤悪い ⑥わからない

問10. 現在運行中の「すいすいバス」に満足されていますか？（〇は1つ）

①良い ②やや良い ③ふつう ④やや悪い ⑤悪い ⑥わからない

問11. 自家用車を所有する世帯の方にお伺いします。「すいすいバス」を利用することで、自動車を運転する頻度は減少しましたか？（〇は1つ）

①減少した ②変わらない ③増加した ④わからない

あなた自身のことについてお尋ねします。

問 12. 性別は？（〇は1つ）

①男

②女

問 13. 年齢は？（〇は1つ）

①24歳以下 ②25～34歳 ③35～44歳 ④45～54歳

⑤55～64歳 ⑥65～74歳 ⑦75歳以上

問 14. 職業は？（〇は1つ）

①会社員

②パート・アルバイト

③自営業

④公務員

⑤学生

⑥無職

⑦その他

問 15. お住まいは？

①吹田市内（町名：

）

②吹田市外（

市）

★最後に、「すいすいバス」について何か御意見がありましたら御記入ください。

御協力ありがとうございました。